2026 年度の進め方について
（新手法検証事業【区分 5】団体同士の連携・協力を図る新手法）

2026 年 9 月 27 日　適格団体連絡協議会
消費者機構日本　板谷伸彦

1．調査の背景・目的

・2025 年度事業では、連携・協力のための業務システム基盤について調査検証し、実用化の目途はついた。しかし、2026 年度初頭において活用が開始されているのは 4 団体に留まっている。
（COJ、KCs、なくす会、新潟）
・その要因として考えられるのは以下の 2 点
→　メリット提案の弱さ；事務局業務全般に亘るパッケージ化が不十分。
→　事務局体制の弱さ　；新システムに切り替える最初のマンパワーが不足。
・2025 年度事業からの提言をふまえつつ、上記 2 点に対応する調査検証を実施する。

2．事業内容

・導入済団体（導入目前団体）が参加する検証会議（ホクネット、なくす会、全相協、新潟、KC’s）で次の 4 点を検討する。
（1）業務システムの課題抽出と改善策の検討
①　現・事案検討システムの改善点の抽出。
②　団体運営業務を合理化するためのシステム化の検討。
（2）業務システム導入支援
③　導入意思のある団体向けに説明会を企画・開催。
④　マニュアル整備と導入意思ある団体への個別支援策の検討。

3．スケジュール

・8/20：検証会議①　･･･全体の進め方について
・9/18：検証会議②　･･･現システム改善、新アプリ、マニュアル準備などの検討（1 回目）
・適格連絡協議会（9/27）･･･2026 年度の進め方報告、12 月のシステム共同化説明会のご案内
・10/21：検証会議③　･･･現システム改善、新アプリ、マニュアル準備などの検討（2 回目）
・11/20：検証会議④　･･･システム共同化説明会の内容を検討、個別支援策の検討
・システム共同化説明会（同じ内容で 2 回・オンライン）　･･･未導入団体も含めて報告、質疑
第 1 回　12/1（火）10：00～12：00
第 2 回　12/4（金）15：00～17：00
・2/5：検証会議⑤　･･･検証報告内容の検討
・2/26 までに消費者庁へ検証報告書の提出

４．検討状況

（1）業務システムの課題抽出と改善策の検討

①　現システムの改善点の抽出

（検証会議で意見交換しながら進行中）

②　団体運営業務の合理化の検討

《仮説 1》寄附者名簿等の合理化

・事案に関する記録（情報収集記録、交渉記録、訴訟記録）はすでに帳票化できるようにしているが、会費や寄附金に関する記録は、帳簿作成のために別途転記するなどが必要。（会計管理と会員管理の仕組みが分離されているため）。

・会計記録と属性情報（氏名、住所等）を Kintone 上で組み合わせて管理できると良いのではないか。

《仮説 2》総会運営業務の合理化

・総会の開催時に会員との間で郵送でのやりとりを行っているが、これを電磁的方法に置き換えることができると良いのではないか。

（2）業務システム導入支援

③　導入意思のある団体向けに説明会を企画・開催

次のような概要で 10 月末頃に kikaku メーリングリストで参加案内を発信します。

《日時》

・12 月 1 日（火）10：00～12：00 時

・12 月 4 日（金）15：00～17：00 時

※2 回とも同じ内容

※いずれもオンライン。必要があれば追加開催を検討。

《プログラム予定》

※ポータルの操作マニュアルタブに各アプリの「デモ動画」を格納していますので、使い慣れていない未導入団体の方は予めご覧になってから（記憶を呼び起こしていただいてから）ご参加いただけると有難いです。

1. システムの全体像（約 1 時間））：概要説明と質疑応答
2. 導入までの手順（約 30 分：概要説明と質疑応答
3. その他質疑応答（約 30 分）

④　マニュアル整備と導入意思ある団体への個別支援策の検討

・ポータルの操作マニュアルの再整備を予定

・個別支援の具体化は 12 月説明会後に検討

以上